

略 年 譜

西暦	年号	干支	年齢	田 善 堂 欧 亜	美術・一般関連事項
1728	享保13	戊申			平賀源内生まれる。
1733	享保18	癸丑			杉田玄白生まれる。
1747	延享 4	丁卯			司馬江漢生まれる。
1748	寛延元	戊辰	1	奥州須賀川（現在の福島県須賀川市諏訪町）に、永田惣四郎の次男として生まれる。本名は永田善吉。	佐竹曙山（義敦）生まれる。
1749	寛延 2	己巳	2	俳人石井雨考須賀川に生まれる。	小田野直武生まれる。
1754	宝暦 4	甲戌	7		森嶋中良生まれる。
1755	宝暦 5	乙亥	8	父、惣四郎没し、田善の兄丈吉が家業の染物屋を継ぐ。異国染めをはじめ。丈吉は狩野派に学び崑山と号す。田善は家業を手伝いながら、兄に絵を学ぶ。	
1758	宝暦 8	戊寅	11		松平定信江戸に生まれる。
1762	宝暦12	壬午	15	「絵師須賀川永田善吉」として絵馬「源頼義水請之図」を古寺山白山寺（須賀川市上小山田）に奉納する。	
1763	宝暦13	癸未	16		谷文晁生まれる。
1773	安永 2	癸巳	26	田善の妻没す。	平賀源内、鉾山開発のため秋田藩に招かれ、秋田藩主佐竹曙山、藩士小田野直武に西洋画法を伝える。
1774	安永 3	甲午	27		杉田玄白、前野良沢他「解体新書」を著す。小田野直武「解体新書」の挿絵（解剖図）を木版画で描く。
1776	安永 5	丙申	29	松平定信奥州白河藩主となる。	俳人市原多代女須賀川に生まれる。
1778	安永 7	戊戌	31	後妻をむかえ、貞順（静庵）生まれる。	佐竹曙山、日本初の西洋画論「画法綱領」「画図理解」を著す。
1780	安永 9	庚子	33		小田野直武没す。（31歳）
1783	天明 3	癸卯	36	司馬江漢、日本最初の銅版画「三囲景」を制作する。	
1785	天明 5	乙巳	38	伊勢の寂照寺に月僊を訪ね、かれに師事する。	佐竹曙山没す。（38歳）
1787	天明 7	丁未	40	松平定信、老中首座となり「寛政の改革」はじまる。	森嶋中良「紅毛雑話」を著す。その中に銅版画制作の方法が載せてある。
1789	寛政元	己酉	42	月僊、寺再建の資金を集めるため、諸国行脚の途中須賀川により、田善と再会する。	
1791	寛政 3	辛亥	44	兄、崑山没す。（55歳）	
1793	寛政 5	癸丑	46	松平定信、老中職を辞する。	司馬江漢、前年制作した日本最初の銅版画世界地図「與地全図」を改版して「地球全図」を制作する。
1794	寛政 6	甲寅	47	松平定信、領地巡視のため須賀川に立ち寄り、田善の「江戸芝愛宕山図」屏風を見て関心し、田善を谷文晁に入門させる。	
1796	寛政 8	丙辰	49	松平定信の城下、白河の会津町に移り、名を太仲と改める。このときより、田善御用絵師となる。	